

令和4年度 第2回

上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進会議 次第

日 時：令和4年10月18日(火)午前10時から

会 場：上越市役所第一庁舎 401 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 防犯に関する市民意識調査の結果について … 資料1

(2) 推進計画改訂の骨子案について … 資料2

4 その他

5 閉 会

上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進会議 第8期 委員名簿

No.	氏名	区分	団体・機関及び役職名	出欠	備考
1	片桐 史裕	学識経験者	上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授	出	副会長
2	五十嵐 加代子	関係行政機関	新潟県 上越地域振興局 健康福祉環境部地域保健課 課長代理	出	
3	山本 克志	関係行政機関	上越警察署 生活安全課長	出	
4	小池 修	関係行政機関	小・中学校校長会 頸城中学校 校長	欠	R4. 4. 1～
5	牛木 洋子	関係行政機関	保育園長会 有田保育園 園長	出	
6	阿部 利夫	地縁団体等代表者	上越市町内会長連絡協議会 会長	出	会長
7	山本 良昭	地縁団体等代表者	上越市小中学校PTA連絡協議会 ブロック長	出	R4. 5. 22～
8	熊木 敏夫	地縁団体等代表者	上越市防犯協会 副会長	出	
9	丸山 治夫	地縁団体等代表者	上越市老人クラブ連合会 事務局長	欠	
10	熊田 和子	事業者	上越商工会議所 女性会 会長	欠	
11	金子 隆一	公募市民	公募市民	欠	
12	飯塚 よし子	公募市民	公募市民	出	
13	市川 均	市職員	上越市教育部長	欠	
14	市川 重隆	市職員	上越市防災危機管理部長	出	R4. 4. 1～

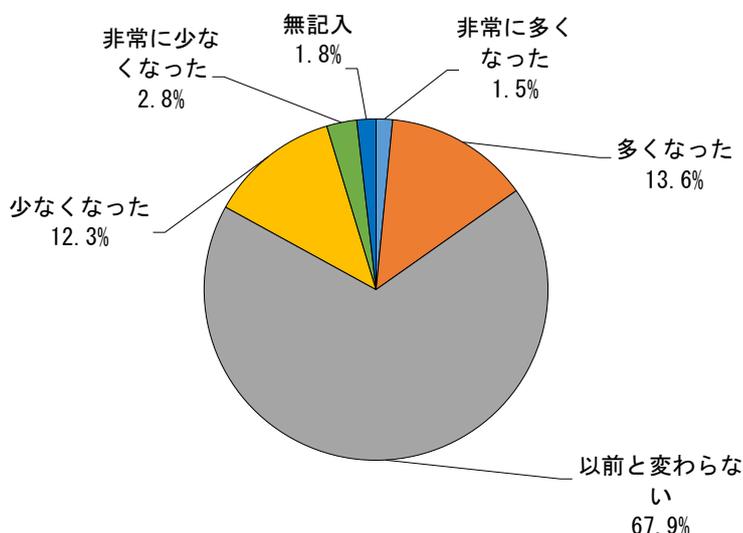
任期: 令和3年4月1日～令和5年3月31日

「防犯に関する市民意識調査」集計結果

問1 あなたが住む地域における最近の犯罪発生状況について、どのように感じていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

N = 389

1	非常に多くなった	6人	1.5%
2	多くなった	53人	13.6%
3	以前と変わらない	264人	67.9%
4	少なくなった	48人	12.3%
5	非常に少なくなった	11人	2.8%
-	無記入	7人	1.8%



【問1—集計結果から把握できること】

生活の基盤である居住地域における犯罪発生状況について、約68%の方が「以前と変わらない」と回答した。その他、「多くなった」または「少なくなった」と回答した人は概ね同数で15%程度となった。過去の調査と比較して「多くなった」と回答した方は減少傾向にあり、「以前と変わらない」は増加傾向、「少なくなった」は横ばいの状況にあり、実際の犯罪認知件数とは乖離しているが、犯罪発生状況の感じ方は、安定しており、また僅かながら向上が見られる。

【計画への反映方法】

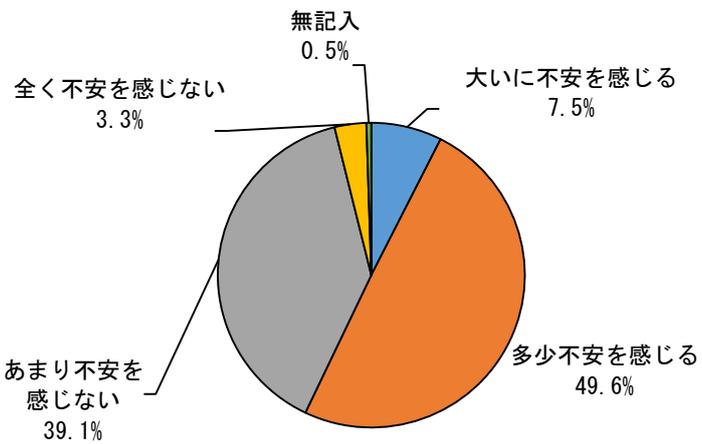
体感治安が更に向上するよう、安全・安心な社会の実現に向けて防犯情報の提供、防犯出前講座の実施など自主防犯活動の支援等に引き続き、努めていく必要がある。

	H18年度	H26年度	R4年度
1 非常に多くなった	3.7%	0.9%	1.5%
2 多くなった	30.1%	18.1%	13.6%
3 以前と変わらない	57.4%	56.1%	67.9%
4 少なくなった	7.3%	6.2%	12.3%
5 非常に少なくなった	1.5%	17.8%	2.8%
6 無記入	0.0%	0.9%	1.8%

問2 あなたは、ご自身やご家族が上越市内で「何らかの犯罪に巻き込まれて、被害者になるかもしれない」という不安を感じますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

N = 389

1	大いに不安を感じる	29人	7.5%
2	多少不安を感じる	193人	49.6%
3	あまり不安を感じない	152人	39.1%
4	全く不安を感じない	13人	3.3%
-	無記入	2人	0.5%



【問2—集計結果から把握できること】
「不安を感じる」と回答した方の割合が57.1%と半数以上の方が、自身や家族の犯罪被害を懸念している状況にあるが、傾向としては減少している。また「不安を感じない」と回答した方は、増加傾向にある。

【計画への反映方法】
本設問は、「上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画」において、「犯罪に遭わない、起こさせない」ための安全で安心して暮らせる「環境づくり」の取組のバロメーターとしており、計画期間の令和4年度までに「犯罪への不安を感じない市民の割合を34%以上にする」と目標としている。
計画に基づいた主な施策（犯罪の防止に配慮した基盤整備や住宅等の普及啓発、通学路等における安全確保の取組、相談業務の整備）に取り組んだ結果、今回の調査では42.4%と目標を達成することができた。不安を感じる方の割合をさらに減少させ、犯罪に遭わない、起こさせないための安全で安心して暮らすことのできる「環境づくり」を継続して進めていく必要がある。

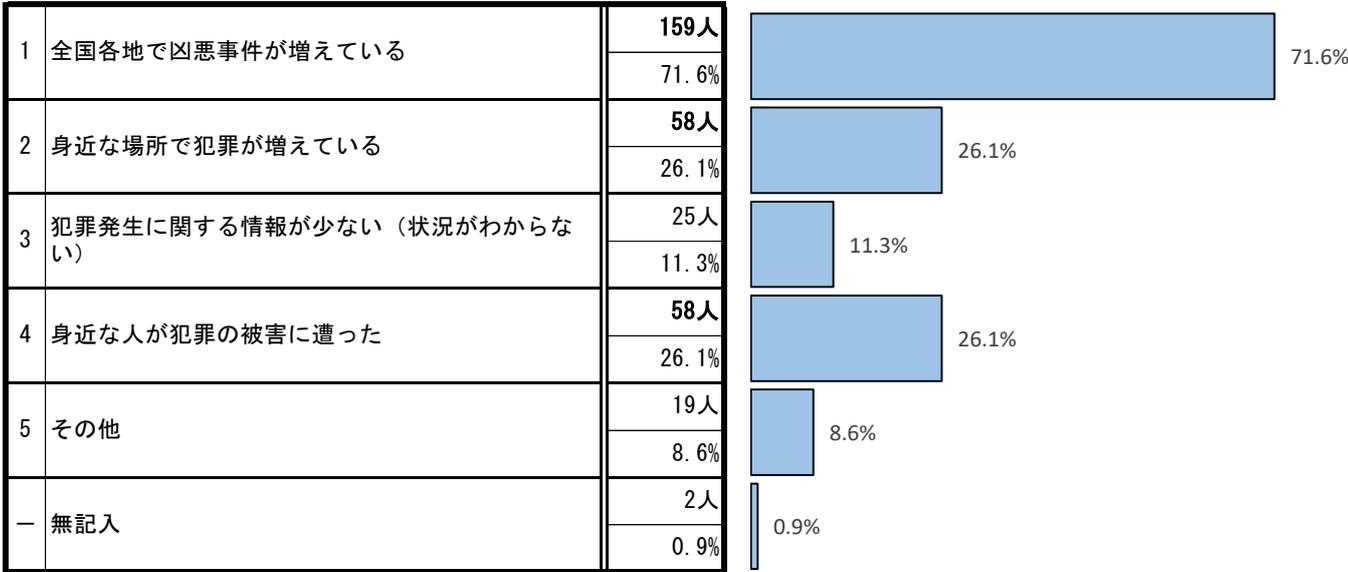
【上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画「環境づくり」のバロメーター】

	H18年度	H26年度	R4年度
1 大いに不安を感じる	14.1%	8.9%	7.5%
2 多少不安を感じる	62.5%	57.6%	49.6%
3 あまり不安を感じない	21.6%	26.4%	39.1%
4 全く不安を感じない	1.8%	2.1%	3.3%
5 無記入	0.0%	5.0%	0.5%

【目標値】
平成30年度 30%以上
令和4年度 34%以上

問3 問2で「1. 大いに不安を感じる」、「2. 多少不安を感じる」と回答した方にお聞きします。あなたが不安を感じる原因は何ですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。「5. その他」と回答した方は、不安を感じる原因を具体的にお書きください。

N = 222



※「5 その他」と回答した人（N= 19）の主な内容を抜粋

車などによるあおり運転など	高齢者が対象の特殊詐欺
ほぼ毎日のようにオレオレ詐欺で何百万円盗まれたとか騙し取られたというニュースが絶えない	地方、都市に限らずいつ、どこで起こるかかわからない状況になってきた

【問3—集計結果から把握できること】

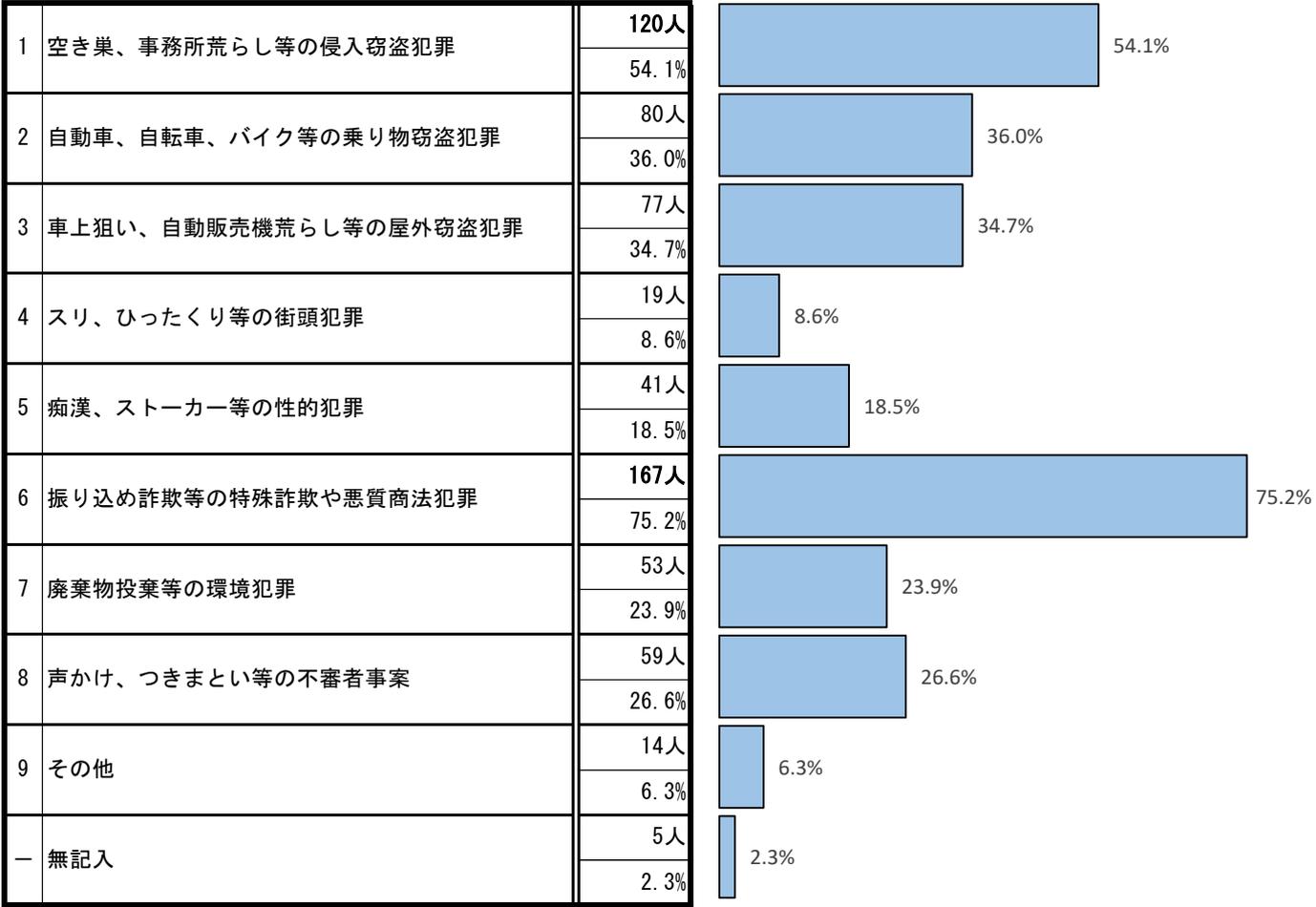
「全国各地で凶悪事件が増えている」と回答した方が67.9%に上ったが、その原因は全国で起きた凶悪事件の報道が様々な媒体を通じて入手できる環境に変化してきたことが考えられる。また「身近な場所で犯罪が増えている」、「身近な人が犯罪の被害に遭った」との回答も多く、上越市安全メールによる情報や身近なところで目や耳にしたものが不安要素になっていると思われる。

【計画への反映方法】

市内における犯罪発生状況や不審者情報等の市民の安全に関わる情報については、警察と連携して安全メールをはじめ各種媒体によるタイムリーな情報発信と対策方法の周知にも努めるほか、地域での防犯活動への参加を促すなど、防犯環境の整備を継続して推進していく必要がある。

問4 問2で「1. 大いに不安を感じる」、「2. 多少不安を感じる」と回答した方にお聞きします。具体的にどのような犯罪に不安を感じますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

N = 222



※「9 その他」と回答した人 (N= 14) の主な内容を抜粋

無差別的な殺人	薬物など身近な所でも新聞、ニュースなどで聞くようになったから
あおり運転	人を殺して刑務所に入りたい人の犯罪

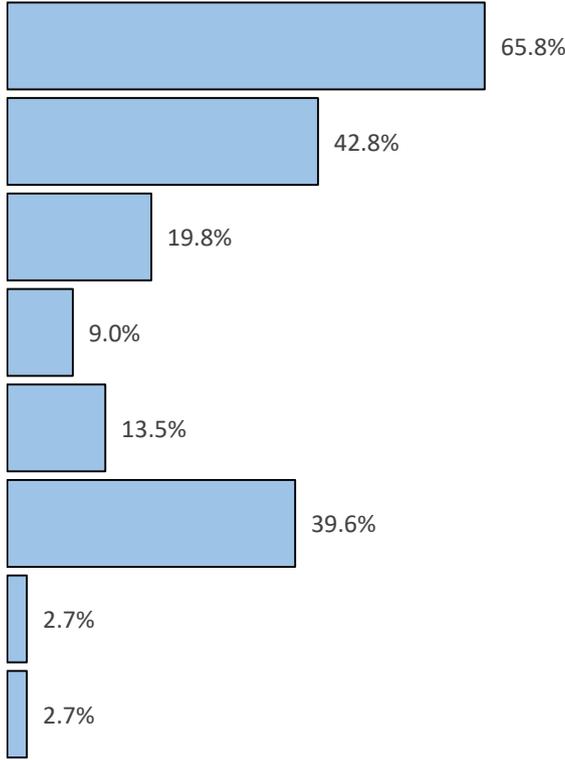
【問4—集計結果から把握できること】
「振り込め詐欺等の特殊詐欺」や「悪質商法犯罪」に多くの方が不安を感じている。

【計画への反映方法】
特殊詐欺被害防止に向け、各種の啓発活動を通じて対策方法の周知を継続して実施していく必要がある。

問5 問2で「1. 大いに不安を感じる」、「2. 多少不安を感じる」と回答した方にお聞きします。犯罪被害に遭うかもしれないと感じる場所はどこですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

N = 222

1	自宅や勤務先の会社	146人 65.8%
2	繁華街やデパート、スーパーマーケットなど	95人 42.8%
3	公園や遊園地、映画館など	44人 19.8%
4	パチンコ店、ゲームセンターなど	20人 9.0%
5	バスや電車など公共交通機関	30人 13.5%
6	通勤・通学経路や自宅周辺の道路	88人 39.6%
7	その他	6人 2.7%
—	無記入	6人 2.7%



※「7 その他」と回答した人（N= 6）の主な内容を抜粋

夜、特に上越の市街地は街灯が暗い	病院駐車場、公園駐車場など
------------------	---------------

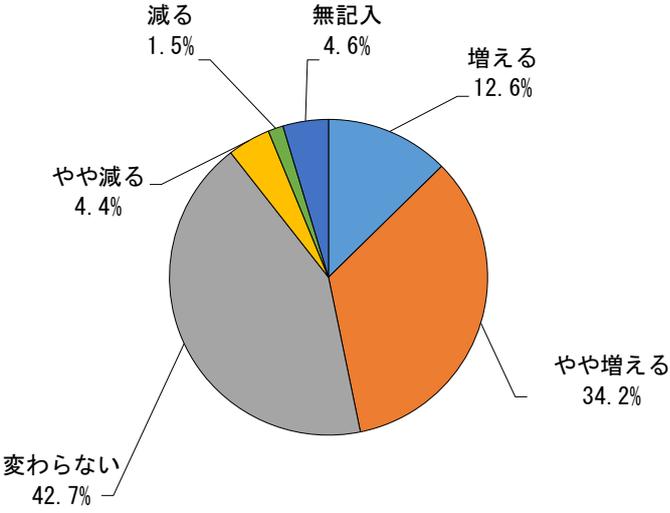
【問5—集計結果から把握できること】
 犯罪被害に遭うかもしれないと不安を感じる場所は、自宅や会社が最も多く、次に多いのが通学路や自宅周辺の道路となっており、生活の時間の大半を占める生活圏内で不安を感じている。

【計画への反映方法】
 自ら行うことのできる防犯対策を周知するとともに、青色回転灯装着車によるパトロールの実施や110ばん協力車の登録者数の増加を図る。また地域・街頭における見守り活動を全市に広げるための啓発活動（防犯週間の周知及び参加者増加に向けた啓発など）を引き続き、推進する。

問6 これからの4、5年の間に、あなたの身近な地域の犯罪発生はどのようになると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

N = 389

1	増える	49人	12.6%
2	やや増える	133人	34.2%
3	変わらない	166人	42.7%
4	やや減る	17人	4.4%
5	減る	6人	1.5%
—	無記入	18人	4.6%



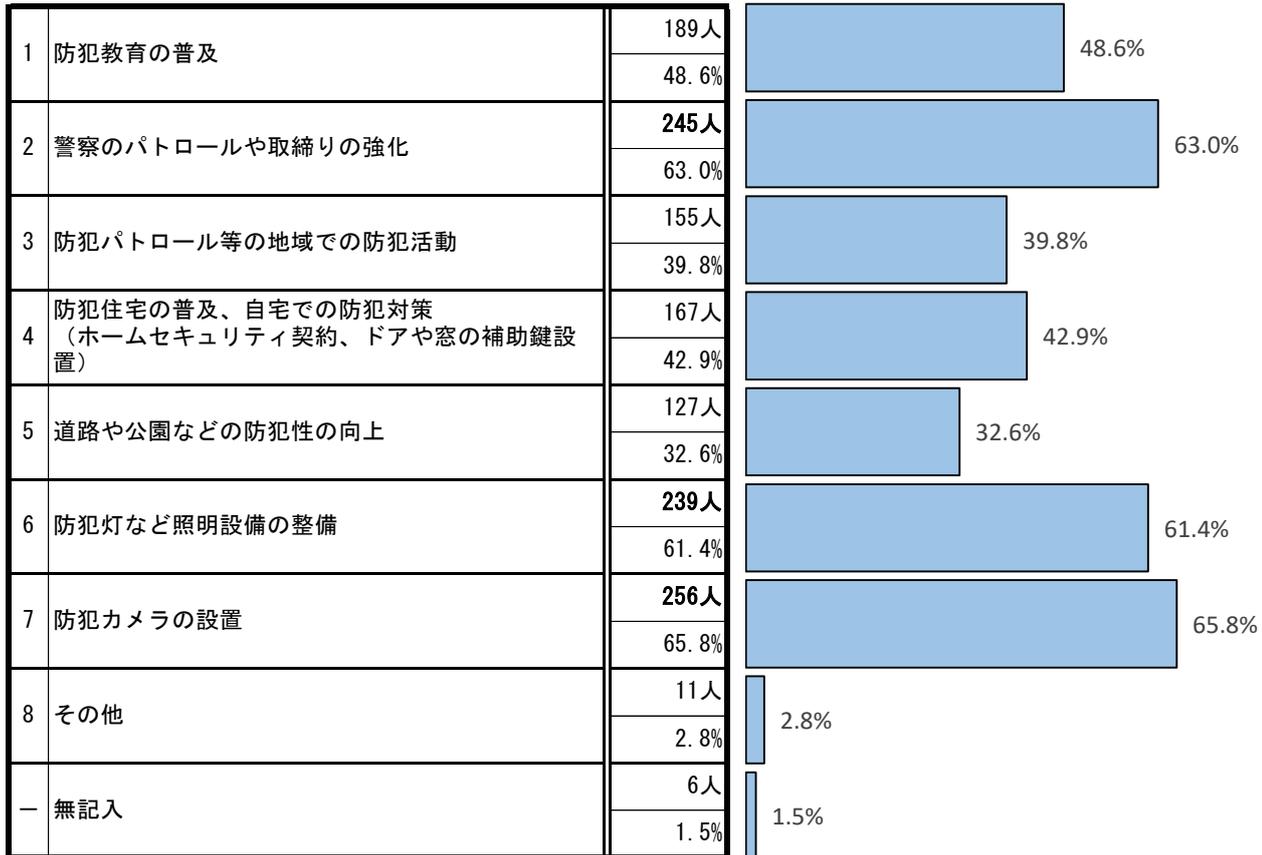
【問6—集計結果から把握できること】
 今後、犯罪発生が「増える」、「やや増える」と回答した方の割合が46.8%、「変わらない」と回答した方の割合が42.7%である一方、「やや減る」「減る」と答えた方は5.9%であり、犯罪発生が増えると考えている方が多い。

【計画への反映方法】
 身近な地域での犯罪発生への不安感を減少させるため、防犯教室の開催や啓発活動などを行い、「上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画」の基本方針に掲げている「意識づくり」、「地域づくり」、「環境づくり」の各施策の取組を継続する。

	H18年度	H26年度	R4年度
1 増える	29.6%	12.2%	12.6%
2 やや増える	45.9%	41.2%	34.2%
3 変わらない	18.7%	37.1%	42.7%
4 やや減る	4.3%	5.0%	4.4%
5 減る	1.5%	3.0%	1.5%
6 無記入	0.0%	1.5%	4.6%

問7 身近なところから犯罪を減らしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

N = 389



※「8 その他」と回答した人(N= 11)の主な内容を抜粋

市民の目、協力	防犯メール(情報)の強化
スマホアプリを利用した防犯の取り組み	市民の暮らしの向上、魅力ある街づくり。

【問7ー集計結果から把握できること】

防犯カメラや防犯灯の整備など、ハード面の整備を求める一方で、警察によるパトロールや防犯教育の普及などのソフト面の充実も求めている。

【計画への反映方法】

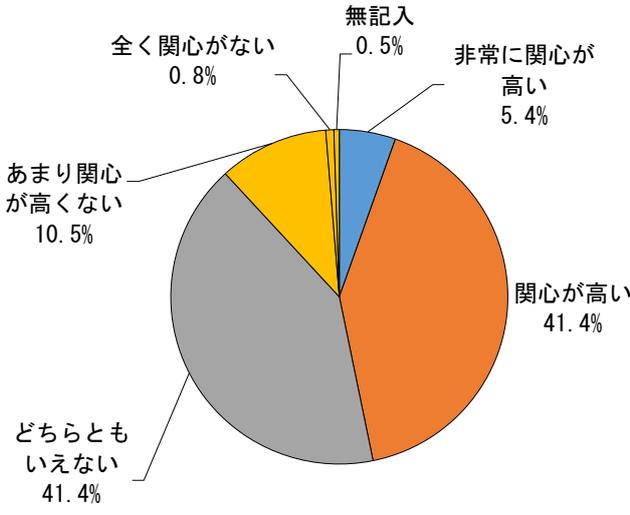
防犯灯などハード面は、設置基準を設けて整備しているほか、町内会が設置した防犯灯の電気料金を市が負担し、安全な環境確保に努めている。最も回答が多かった防犯カメラについては、カメラが捉えた犯罪や事故などの映像を報道等で目にする機会が増えたことが影響していると推測される。しかし、広大な市域を有する本市においては、撮影範囲に限られるカメラの特性を考慮すると市域すべてをカバーすることは現実的ではなく、施設や個人宅などにおいて効果が高い点などを必要に応じ、周知する。

一方、ソフト面では、地域の防犯パトロールや見守り活動の体制の充実を図るとともに参加者の安全の確保に努めるほか、地域による見守り活動の充実や関係機関と連携した広報・啓発活動などの推進を図る。あわせて、児童・生徒をはじめとした各年代に応じた防犯教育の充実を図る。

問8 あなたは、「防犯」に対して関心は高いと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
 また、「3. あまり関心が高くない」、「4. 全く関心がない」と回答した方はその理由をお書きください。

N = 389

1	非常に関心が高い	21人	5.4%
2	関心が高い	161人	41.4%
3	どちらともいえない	161人	41.4%
4	あまり関心が高くない	41人	10.5%
5	全く関心がない	3人	0.8%
—	無記入	2人	0.5%



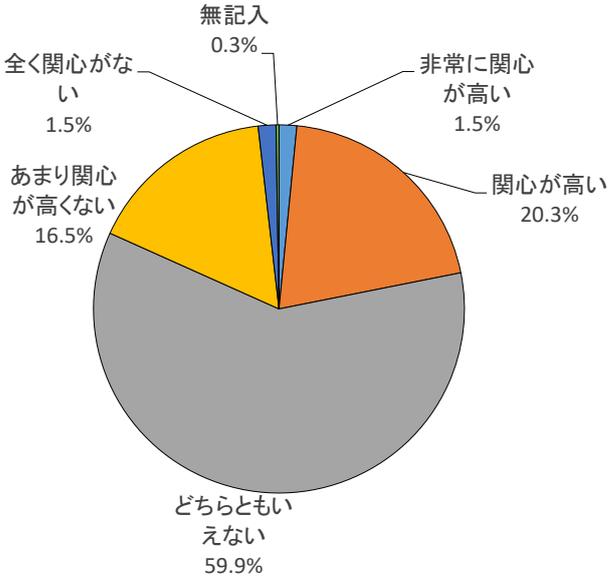
【問8—集計結果から把握できること】
 「全く関心がない」「あまり関心が高くない」と回答した方11.3%に対し、「非常に関心が高い」、「関心が高い」と回答した方は、4倍超の46.8%と半数近くの方が関心があると回答した。

【計画への反映方法】
 防犯への関心は比較的高い状態であることから、今後は市民自らが行うことができる防犯対策の周知をするとともに、110ばん協力車の登録者数増加や防犯ボランティアによる地域における見守り活動などが全市に広がるよう啓発に努める。

問9 あなたが住む地域の方々の「防犯」に対する関心は高いと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
また、「3. あまり関心がない」、「4. 全く関心がない」と回答した方は、その理由をお書きください。

N = 389

1	非常に関心が高い	6人	1.5%
2	関心が高い	79人	20.3%
3	どちらともいえない	233人	59.9%
4	あまり関心が高くない	64人	16.5%
5	全く関心がない	6人	1.5%
—	無記入	1人	0.3%



【問9—集計結果から把握できること】

「全く関心がない」、「あまり関心が高くない」と回答した方18.0%に対し、「非常に関心が高い」、「関心が高い」と回答した方は21.8%と約4ポイント上回った。問8の個人の防犯に対する関心についての質問結果とは異なる結果となった。

【計画への反映方法】

本設問は、「上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画」において、「地域の安全は自ら守る」という自己防犯意識を高める「意識づくり」の取組のパロメーターとしており、計画期間の最終年度までに防犯への関心が高いと思う市民の割合を60%以上にすることを目標としていたもの。

今回のアンケートでは目標を達成できなかったことから、地域社会全体で防犯への関心を高め、防犯への意識が高まるよう、引き続き上越市防犯週間における取組みの促進や地域に出向く防犯出前講座等の広報啓発活動に努める。

【上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画「意識づくり」のパロメーター】

	H18年度	H26年度	R4年度
1 非常に関心が高い	5.2%	0.9%	1.5%
2 関心が高い	42.4%	40.1%	20.3%
3 どちらでもない			59.9%
4 あまり関心が高くない	51.2%	57.3%	16.5%
5 全く関心がない	1.2%	1.8%	1.5%
6 無記入	0.0%	0.9%	0.3%

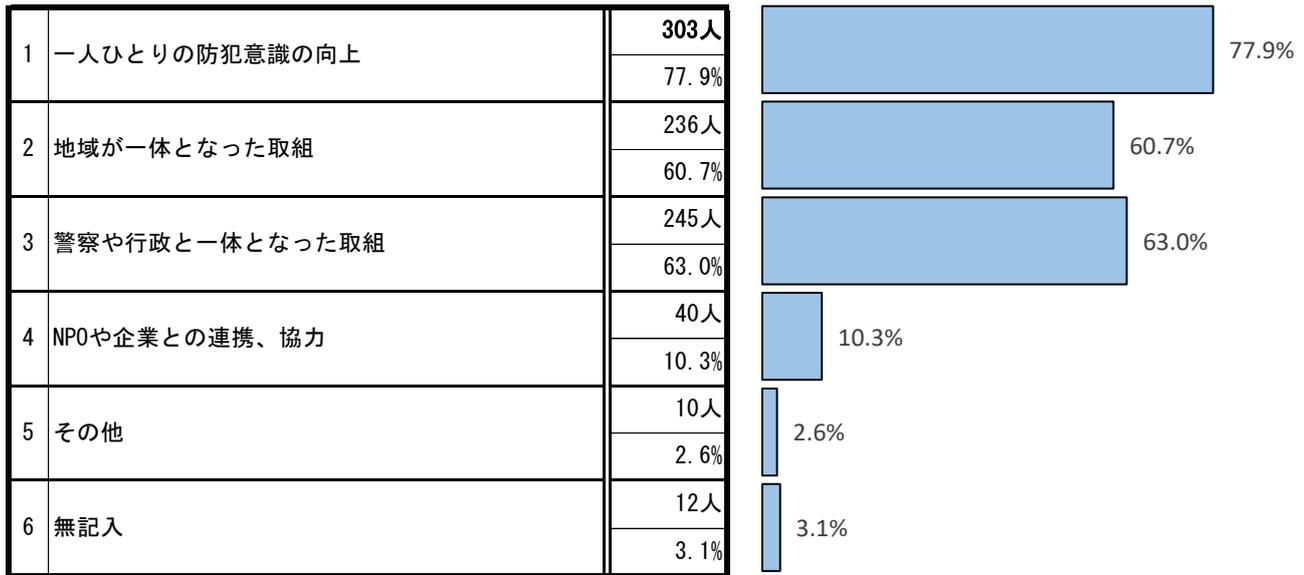
【目標値】

平成30年度 54%以上
令和 4年度 60%以上

問10

地域の防犯力を高めていくためには、どのようなことが必要だと考えますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

N = 389



※「5. その他」と回答した人（N=10）の主な内容を抜粋

地域、警察、行政、NPO、企業すべてが連携、協力できる取組や体制が必要	地域や近所の意識が重要。団体にたよる必要はないと考える
組織的な犯罪に対する防犯意識の向上	速やかな情報提供

【問10—集計結果から把握できること】

地域の防犯力を高めていくためには、一人ひとりの防犯意識の向上、地域が一体となった取組、警察や行政と一体となった取組が必要であると多くの方が考えている。

【計画への反映方法】

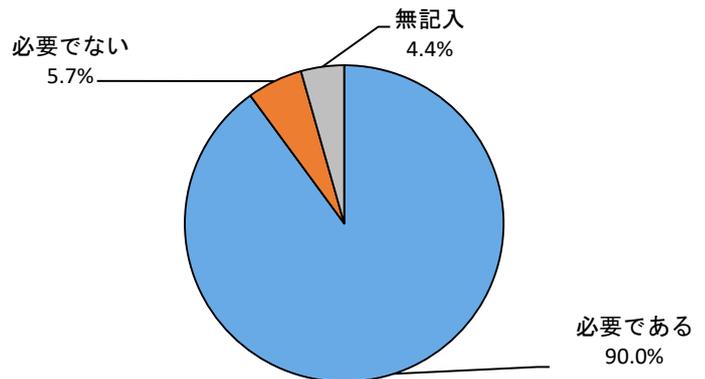
警察や防犯関係団体と連携し防犯対策に係る情報提供や啓発活動を通じ、市民の皆さんの意識向上と地域での防犯活動への取組支援に引き続き、努めていく。

問11

犯罪を抑止するために、地域における自主的な防犯活動は必要だと思いますか。どちらかに○をつけてください。
「2. 必要でない」と回答した方は、その理由をお書きください。

N = 389

1	必要である	350人	90.0%
2	必要でない	22人	5.7%
—	無記入	17人	4.4%



「2. 必要でない」と回答した方は、その理由をお書きください。

理由（※一部抜粋）

継続した取組に繋がらないと思うので
周りに被害者、加害者がおらず実感が湧かない。
各自の意識が必要
地区、町内会に自主的な防犯活動を立ち上げ継続できるような活力を感じない。
当地域では刑法犯罪が発生していないから
高齢化と過疎化の進んだ地域には負担が大きい。
地域の人間が信用できない。
地域住民の高齢化に伴い防犯活動が厳しい・・・（若者の流出が止まらない。）（又いない。）
警察が動いてパトロールをした方が効果がある。防犯活動をすることによって一般市民のパトロールしてる方が被害にあう可能性も出てくる。
町内があてにならない。費用ばかり請求されそう。

【問11—集計結果から把握できること】

大多数の方は地域における自主的な防犯活動が必要と考えている。

【計画への反映方法】

地域において自主防犯活動を行っている町内会や防犯団体の活動を支援するため、各種防犯情報の提供などに努めるほか、出前講座などを通じ、防犯意識の啓発を図り、自主防犯活動の推進に繋げていく。

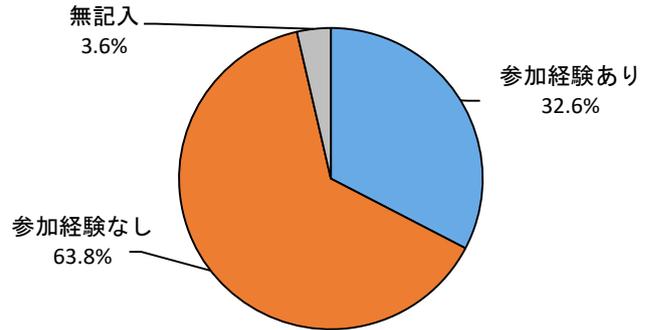
問12

あなたは、過去に地域での防犯活動に参加したことがありますか。どちらかに○をつけてください。

「1. 参加経験あり」と回答した方は、参加したことがある活動全てに○をつけてください。

N = 389

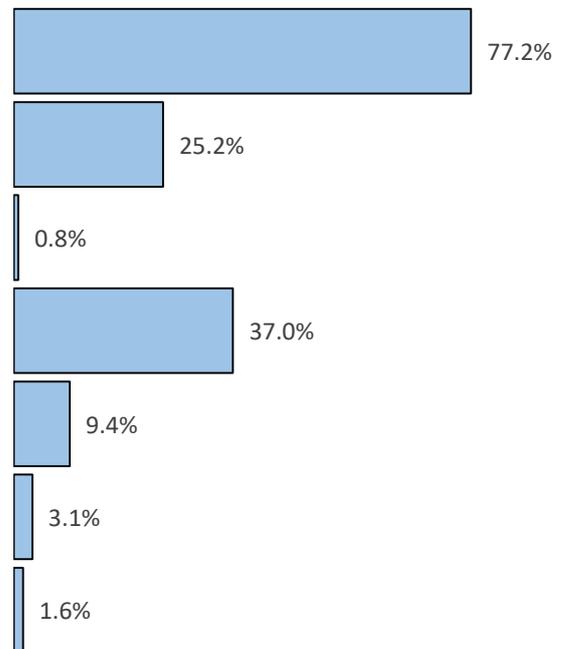
1	参加経験あり	127人	32.6%
2	参加経験なし	248人	63.8%
—	無記入	14人	3.6%



「1. 参加経験あり」と回答した方は、参加したことがある活動全てに○をつけてください。

N = 127

1	児童・生徒の登下校時の通学路パトロール	98人	77.2%
2	防犯講演会などへの参加	32人	25.2%
3	有害ビラの除去や落書き消し等の活動	1人	0.8%
4	徒歩による地域内パトロール（日常生活の中での見守り活動「ながらパトロール」を含む）	47人	37.0%
5	自動車による地域内パトロール（日常生活の中での見守り活動、110番協力車などによる「ながらパトロール」を含む）	12人	9.4%
6	防犯ボランティア団体などへの寄付等	4人	3.1%
7	その他	2人	1.6%



※「7. その他」を選択した人（N=2）の活動内容

夜間の防犯パトロール

孫通園通学、送迎の見守り。

【問12—集計結果から把握できること】

防犯に関心があり、自主的な防犯活動の必要性を感じている方は多いが、活動の参加経験者は32.6%にとどまった。

【計画への反映方法】

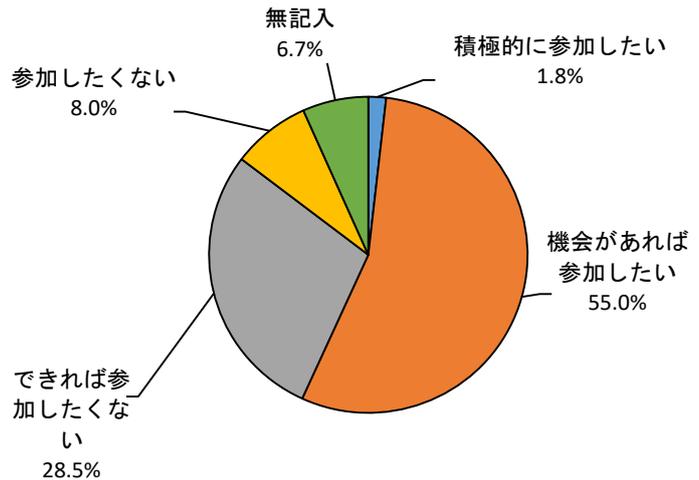
地域全体で防犯活動に取り組む機会として実施している防犯週間に合わせ、110ばん協力車のステッカーを貼付した車での「ながらパトロール」など、参加しやすく一人でも行える防犯活動の情報提供を行い、参加者の増加に努める。

問13

今後、あなたは地域での防犯活動に参加したいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

N = 389

1	積極的に参加したい	7人	1.8%
2	機会があれば参加したい	214人	55.0%
3	できれば参加したくない	111人	28.5%
4	参加したくない	31人	8.0%
-	無記入	26人	6.7%



【問13—集計結果から把握できること】

「積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」と考えている方の割合は56.8%であり、過去の調査結果と比較すると減少しているが、半数以上の方は参加の意思を持っていることが確認できた。

【計画への反映方法】

本設問は、「上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画」において、「地域の安全は自ら守る」ための連帯感を持った「地域づくり」の取組のバロメーターとしている。

今回のアンケートでは56.8%で目標値に到達しなかったが、防犯活動を行っている団体やグループの情報発信を行い、自主防犯活動への参加機会の拡大に努める。

【上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画「地域づくり」のバロメーター】

	H18年度	H26年度	R4年度
1 積極的に参加したい	11.5%	3.0%	1.8%
2 機会があれば参加したい	76.9%	69.7%	55.0%
3 できれば参加したくない	4.3%	19.6%	28.5%
4 参加したくない	7.3%	5.9%	8.0%
5 無記入	0.0%	1.8%	6.7%

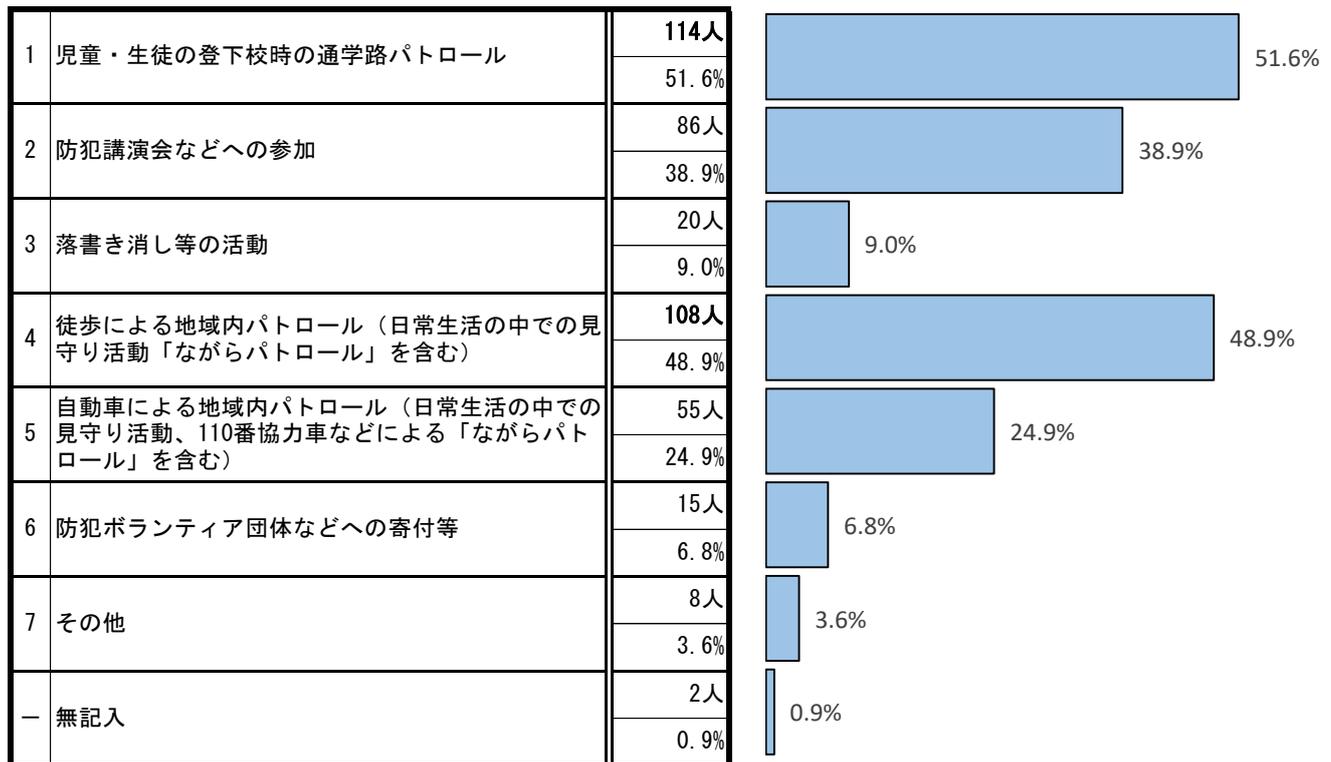
【目標値】

平成30年度 84%以上
令和 4年度 90%以上

問14

問13で「1.積極的に参加したい」、「2.機会があれば参加したい」と回答した方にお聞きします。
 どのような活動であれば、地域の防犯活動に関わっていきたいと思いますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

N = 221



※「7.その他」と回答した人（N= 8）の主な内容を抜粋

防犯カメラでの協力(情報提供)	子供達への声かけ(挨拶等)
町内会の指導の元、参加出来る時があれば協力したいと思います	仕事を退職して、時間的に余裕ができれば何かしたいなと思っています。

【問14—集計結果から把握できること】

「通学路パトロール」や「地域内パトロール」等の地域での見守り活動について、「防犯講演会などへの参加」に関りたいとの結果が得られた。

【計画への反映方法】

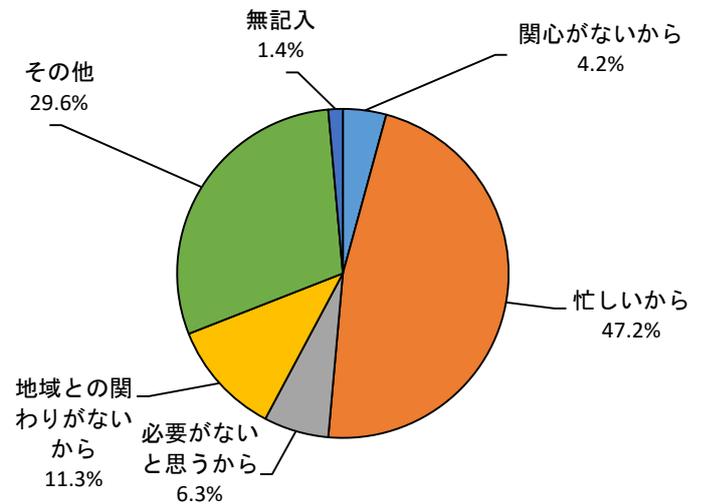
通学路のパトロールなどに積極的に加わっていただけるよう広報を行うとともに、防犯出前講座や研修会など積極的に地域に出向いて活動の促進を図る必要がある。

問15

問13で「3. できれば参加したくない」、「4. 参加したくない」と回答した方にお聞きします。
あなたが参加したくない理由は何ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

N = 142

1	関心がないから	6人	4.2%
2	忙しいから	67人	47.2%
3	必要がないと思うから	9人	6.3%
4	地域との関わりがないから	16人	11.3%
5	その他	42人	29.6%
—	無記入	2人	1.4%



※「5. その他」と回答した人（N=42）の主な内容を抜粋

身体的な理由で	人を使わない防犯対策を行うべき
防犯活動による効果は小さいと感じるためです。	年齢的と介護老人と同居の為

【問15—集計結果から把握できること】

参加できない理由は「忙しいから」が47.2%と最も高く、他の理由を大きく上回っている。

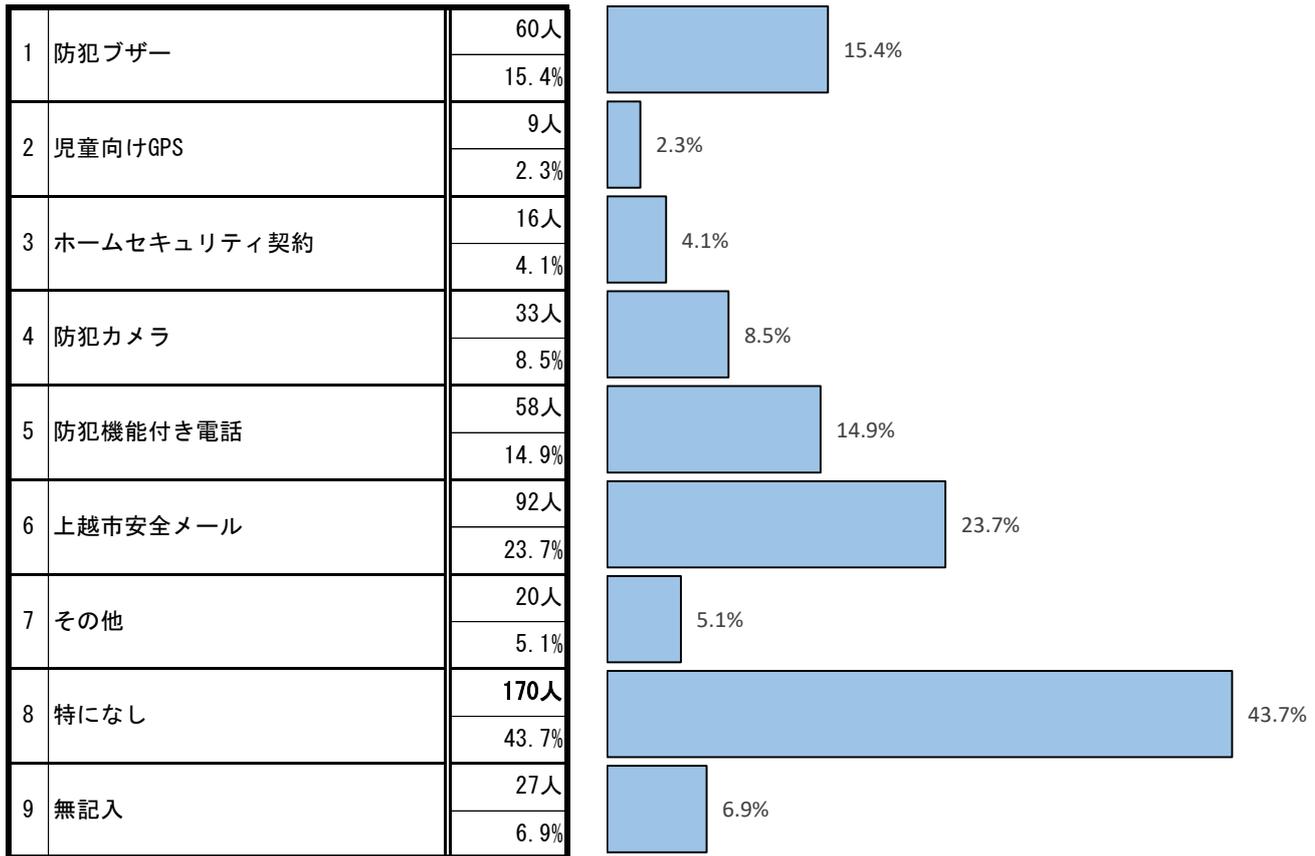
【今後の事業運営での反映方法】

地域防犯の重要性や必要性を周知するとともに、110ばん協力車ステッカーの貼付による「ながらパトロール」など、日常生活の中で行うことのできる防犯活動があることを引き続き、周知する。

問16

自分や家族が犯罪被害に遭わないための対策（持っている、持たせている設置しているなど）はしていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

N = 389



※「7. その他」と回答した人（N= 20）の主な内容を抜粋

ドライブレコーダー	自宅の庭、ベランダにライト(人を感知すると光るもの)を付けている
防犯の笛	常時留守電話としている。

【問15—集計結果から把握できること】

約半数の方は防犯対策を行っている。また、防犯対策を行っている方の多くは、複数の防犯対策を行っている。

【計画への反映方法】

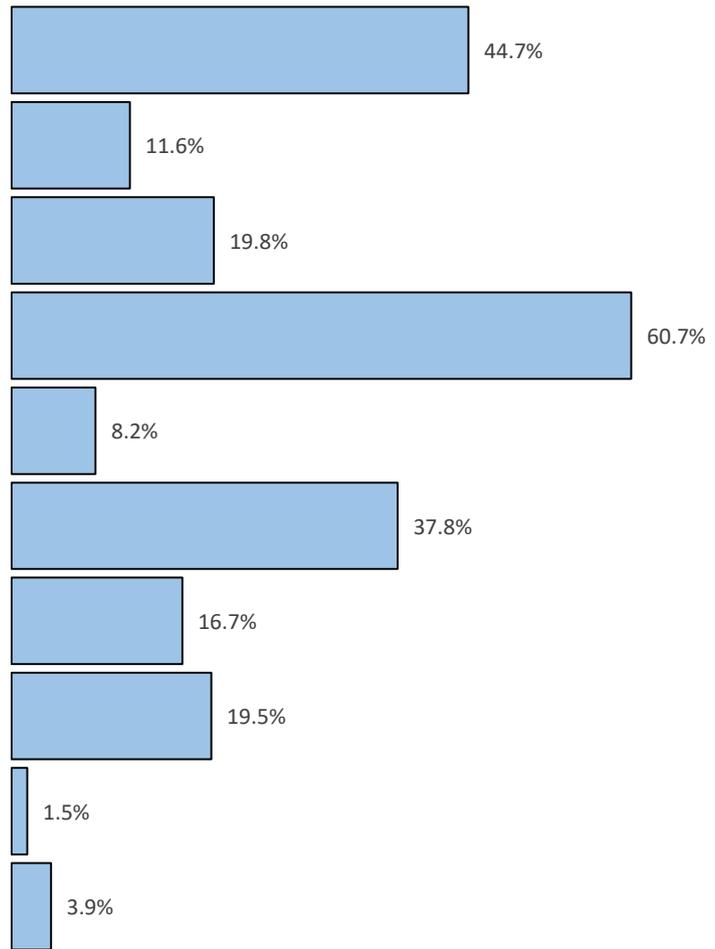
防犯対策の重要性や必要性を周知するとともに手軽にできる対策方法について引き続き、周知を行う必要がある。

問17

犯罪や防犯のための情報は、何から得ることが多いですか。主なもの2つに○をつけてください。

N = 389

1	新聞	174人 44.7%
2	広報紙	45人 11.6%
3	回覧板	77人 19.8%
4	テレビ	236人 60.7%
5	ラジオ	32人 8.2%
6	インターネット	147人 37.8%
7	友人、知人など	65人 16.7%
8	上越市安全メール	76人 19.5%
9	その他	6人 1.5%
—	無記入	15人 3.9%



※「9.その他」と回答した人（N=6）の主な内容を抜粋

学校、保護者からの連絡	自主的に情報を得ていない
-------------	--------------

【問17—集計結果から把握できること】

情報を得る媒体としてテレビや新聞などのマスメディアが多いほか、インターネットの普及により、インターネットから情報を得る割合も増加している。また、回覧板や広報紙などの紙媒体から情報を得ている方も一定数いることが確認できた。

【計画への反映方法】

多くはテレビや新聞などマスメディアからの情報を得ていることから積極的な情報提供を行うほか、インターネットなどの活用、回覧板、広報紙などの紙媒体による情報発信にも努めていく必要がある。

	新聞	広報誌	回覧板	テレビ	ラジオ	インターネット	友人、知人など	上越市安全メール	その他	無記入
H18年度	64.0%	22.4%	22.4%	55.0%	6.3%	5.1%	12.4%	3.0%	4.8%	0.0%
H26年度	49.0%	16.0%	23.4%	57.9%	7.1%	16.9%	14.8%	8.0%	4.2%	0.3%
R4年度	44.7%	11.6%	19.8%	60.7%	8.2%	37.8%	16.7%	19.5%	1.6%	3.9%

意見（※一部抜粋）

時代の流れで、犯罪の種類も変わってきています。特に高齢者や子供など弱者を狙った犯罪や、IT弱者を狙った犯罪が増えてきていると感じます。日頃から地域の協力や、防犯に対する知識が必要と思います。

熊など獣害対策も今後必要な時代が来るかも 車の盗難も多く聞きますが、あまり検挙された事例も聞いた事ありません 対策を広めて防犯意識の向上をお願いします。

防犯カメラや住宅地内での街灯をふやして欲しいと思います

まずは、市民一人一人の防犯意識の向上がなされるのが基本かな！ どんどん情報を出していただければうれしい。

夜になると街が暗くてぶっそうに思います 街頭の設置がもう少し進めばよいなと思います お疲れ様です よろしくをお願いします

住民一人一人の防犯意識が一番大切だと思います。

地域外の人々が使用する施設がある。グラウンドなど知らない人が、出入するので、防犯に気を付けている。

地域の見守り隊の方々には大変お世話になっております。近くに住んでいる方も参加していただいて、娘のこともよく気にかけてくださっているの、とても安心して朝、送り出すことができます。ありがとうございます。

上越市内で起きた事件等、今も安全メールで配信されてますがこれからも市内の事は、このメールが頼りですので注意事項などの配信これからも宜しくをお願いします。

家庭教育・学校教育・社会教育で社会性の育成、特に規範意識を育てていくことが大切だと思います。昨今、家庭での教育力がおぼつかない状態です。それを補う学校、社会の力が一段と必要になるかと思えます。

小集落の窃盗犯を懸念する。現況 昼間人口の減少 高齢者世帯の増加 幹線道路に近く車の移動が容易である。啓蒙活動等の看板の設置が欲しい。

オレオレ詐欺等については、固定電話の有無が関係していると思います。

安全対策を家庭で取り入れる時など、補助が出るとありがたいです。

現在、警察で交付してくれる「110番の家」の表示板を市で交付してもらえれば幸いです。

町内の防犯灯や照明が少なすぎる。特に夜は怖い。

小さな交通ルールの違反を取り締まる姿を時々見かけますが、警察の方はそんな”運が悪かったね”と周囲から言われる程度の違反を取り締まる時間があるなら子どもや市民を犯罪から守る活動に力を入れて欲しい。成績を上げる為の行動にしか思えない。もっと市民の為に働いて下さい。

素人の考えですが、テレビ等で大変詳細に報道されているので、都会等での犯罪が今後少しずつ地方でも増加してくると思っています。

最近地域を巡回しているパトロール車をあまり見かけないように感じます。

田舎の集落で玄関や勝手口に施錠していないまま留守にしている所が不安です。仏壇に御明志が置いてあり、勝手に入り盗難にあうのではないかと気になります。特に老人は人を疑う事が出来ず一人暮らしのお宅は、注意が必要だと思います。

【問18—集計結果から把握できること】

安全安心なまちづくりについて、防犯灯などのハード面の整備や充実を求める意見や、防犯に対する意識を向上させることの重要性に関する意見が多く寄せられたほか、地域の高齢化に伴う防犯活動の不安等の意見も寄せられた。

【計画への反映方法】

市民だれもが安全で安心して暮らすことができるよう、必要な情報の提供を行うとともに、高齢者が中心的に担ってきた見守り活動などの継続に加え、地域全体で支え合う気運の醸成や見守り活動の充実に向けた取組を推進していく必要がある。

【本アンケートの実施目的に対する成果】

■実施目的

市では、「上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画」に基づき、市民の皆さん、事業者の皆さんなどと連携しながら、地域の安全は自ら守るという意識のもとで、「①意識づくり②地域づくり③環境づくり」の3つの基本方向を定めている。そのうえで、「犯罪の防止に配慮した安全で安心なまちづくりの実現」を基本目標とし、犯罪発生件数の減少に向け、防犯教室やベストを着用した防犯パトロール、こども110番の家の活用などの防犯活動を積極的に展開している。

今回は、「上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画」で設定したバロメーターの数値を把握するとともに、変化する犯罪情勢に的確に対応していくための施策を検討するため、調査を実施する。



■成果（平成26年度調査との比較）

上越市みんなで防犯安全安心まちづくり推進計画で設定したバロメーター数値の把握項目では、地域での防犯に係る関心度（意識づくり）が目標値に達しなかった。防犯活動への参加意思（地域づくり）が減少傾向で同様に目標値に達しなかった。また、その理由の多くは「忙しいため」と回答しており、高齢化社会など社会環境の変化によるものと考えられる。体感治安に関する数値（環境づくり）は3割ほど上昇し目標値に達したが、刑法犯認知件数は6割近く減少しており、現実と体感に差が生じている。

安全で安心な地域社会の実現には、地域での自主的な防犯活動が必要不可欠であり、今回調査では目標を達成できなかった防犯への関心及び防犯活動に参加したい気持ちの高揚を図るほか、地域の団体や関係機関と連携した活動をさらに展開していく必要がある。

1 計画策定の根拠、期間、趣旨

(1) 策定根拠

上越市みんなで防犯安全安心まちづくり条例 第4条

(2) 計画期間

令和5～12年度の8年間 市の総合計画期間に合わせる。

(3) 趣 旨

安全安心まちづくりを総合的かつ計画的に推進し、もって市民が安全に安心して暮らし、さらには本市を訪れる者も安全に安心して滞在することができる地域社会の実現を図ることを目的に策定するもの。

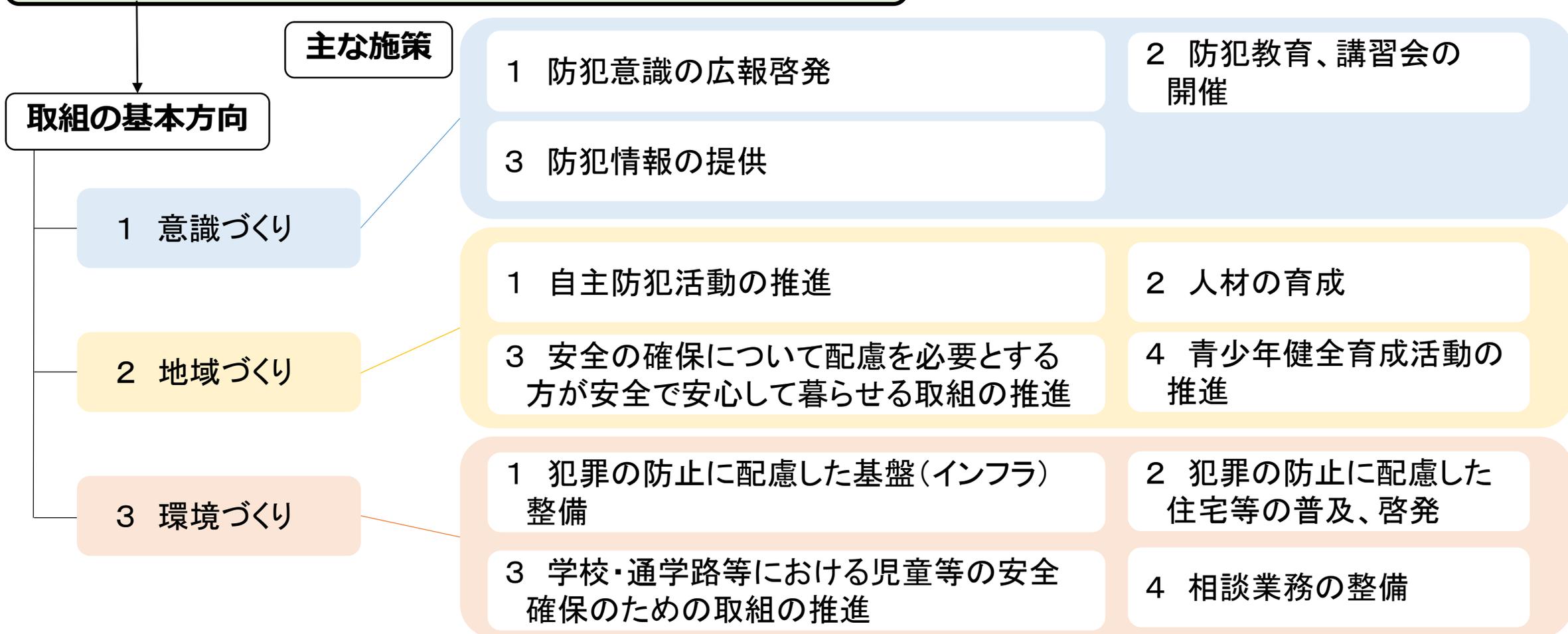
(4) その他

関係する上位計画（新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進計画及び上越市第7次総合計画）との整合を図るほか、パブリックコメントの結果を反映したうえで策定する。

【現行計画の体系】

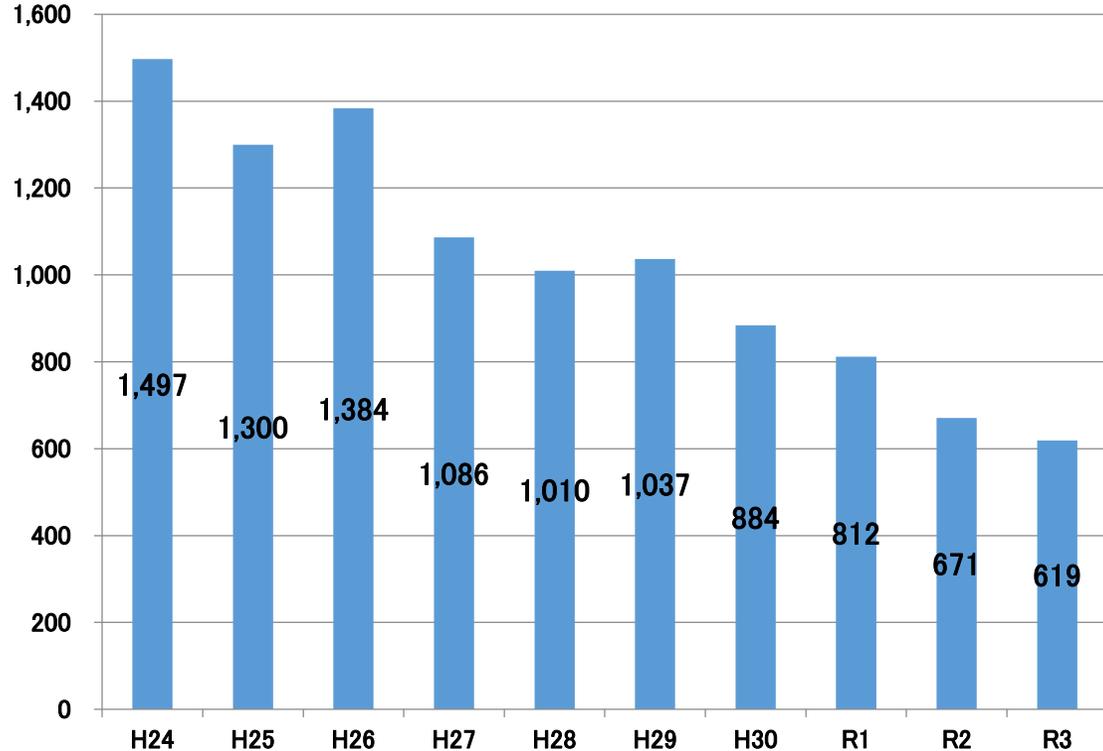
基本目標 : 犯罪の防止に努めた安全で安心な地域社会の実現

重点目標 : 犯罪発生件数を減少させる



2 市内の犯罪の現状

＜上越市刑法犯認知件数の推移＞ （単位：件 年別集計）



総数	1,497	1,300	1,384	1,086	1,010	1,037	884	812	671	619
前年比	△13%	△13%	6%	△22%	△7%	3%	△15%	△8%	△17%	△17%
凶悪犯	5	10	11	6	5	4	6	9	2	4
粗暴犯	124	95	103	103	72	82	113	88	72	52
窃盗犯	1,012	885	901	715	694	666	517	519	439	387
知能犯	53	36	91	38	36	60	49	30	38	50
風俗犯	21	7	7	9	12	3	7	9	6	8
その他	282	267	271	215	191	222	192	157	114	118

※ その他…器物破損、住居侵入、占有離脱物横領 など

（出典：上越市の犯罪概況と少年補導より）

(1) 刑法犯認知件数は、平成14年をピーク（3,242件）に減少傾向

(2) 空き巣や万引き等の窃盗犯が387件と一番多く、全体の約63%を占めている。

(3) 横領や詐欺などの知能犯は50件で、そのうち高齢者が被害に遭いやすい特殊詐欺は11件（被害額3,623万円）、前年比+8件（被害額+3,334万円）となっている。

(4) 窃盗犯（387件）のうち、万引きが117件と最も多い。次いで、侵入盗、自転車盗と続く。また、侵入盗の被害は、その多くが無施錠の状態であった。

＜上越警察署管内の特殊詐欺被害状況＞

(単位:件・万円・人 集計:年別集計)

区分	被害件数(件)									被害金額	
	オレオレ	架空請求	融資保証金	還付金等	金融商品等取引	ギャンブル必勝	異性交際あっせん	その他	合計		
上越市	平成29年	3	10	1	0	0	0	0	0	14	約2,231万円
	平成30年	6	6	2	0	0	0	0	0	14	約8,348万円
	令和元年	8	4	0	0	0	0	0	0	12	約1,736万円
	令和2年	0	1	1	0	0	0	0	1	3	約289万円
	令和3年	0	10	0	0	0	0	0	1	11	約3,623万円
新潟県	平成29年	60	125	11	9	2	1	0	0	208	約5億7,253万円
	令和3年	20	64	1	11	3	0	0	17	116	約2億2,508万円

(出典:上越市の犯罪概況と少年補導より)

(5) 特殊詐欺(11件)の内訳としては、架空料金請求詐欺が10件、キャッシュカード詐欺盗が1件(被害金額0円)となった。

(6) 地区別の犯罪発生状況は、地区により増減の幅が大きく、地区別の対策を講ずることのできる状態ではない。

＜地区別犯罪発生状況＞

地区	R3年	R2年	増減
高田区	115	135	-20
新道区	73	74	-1
金谷区	38	43	-5
春日区	73	92	-19
諏訪区	1	1	0
津有区	5	6	-1
三郷区	2	1	1
和田区	13	26	-13
高土区	3	2	1
直江津区	87	77	10

地区	R3年	R2年	増減
有田区	66	60	6
八千浦区	15	11	4
保倉区	5	8	-3
北諏訪区	2	8	-6
谷浜・桑取区	3	4	-1
安塚区	2	6	-4
浦川原区	4	10	-6
大島区	3	0	3
牧区	3	1	2
柿崎区	14	13	1

地区	R3年	R2年	増減
大潟区	17	13	4
頸城区	25	23	2
吉川区	2	4	-2
中郷区	7	27	-20
板倉区	15	10	5
清里区	3	0	3
三和区	6	9	-3
名立区	6	4	2
不明	11	3	8
市全体	619	671	-52

(出典:上越市の犯罪概況と少年補導より)

3 目標及び重点目標の設定

【設定理由】

(1) 重点目標「犯罪発生件数」については、多少の増減はあるが平成14年のピーク以降、多少の増減はあったものの減少傾向にあり、令和3年時にはピーク比で約8割減少し、**重点目標を達成**した。

(2) 防犯に関する意識調査では、バロメーターとした3項目について、目標達成が1項目に留まった。

環境づくり（犯罪への不安を感じない人の割合）	目標値：34%	結果：42.4%	達成
意識づくり（地域の防犯への関心が高いと思う人の割合）	目標値：60%	結果：21.8%	未達成
地域づくり（防犯活動への参加意欲を示す人の割合）	目標値：90%	結果：56.8%	未達成

(3) 犯罪発生状況と防犯に関する意識調査の結果を鑑み、目標及び基本方向、そして主な施策については、**継続していくことが有効**と考える。

4 改訂の考え方

- 計画期間(平成27年度から令和4年度)の満了により、前計画の構成を踏襲しつつ、現在の犯罪情勢や社会情勢の変化、これらの取組の成果や課題を考えた合わせて、推進計画を策定する。
- 基本目標及び重点目標は、不変的なものであり、目標が達成されない限り継続すべきものと考える。
- 基本方向、主な施策は、継続することとする。なお、犯罪の発生状況や計画のバロメーター達成状況(意識調査)を鑑み、必要に応じて改訂を行う。
- 第4章の主要事業については、実施計画として具体的な数値目標を掲げ、毎年進捗管理を行っており、犯罪の状況や社会環境の変化に対応した変更も必要になる可能性があることから、計画本編には項目のみ掲載することとし、具体的な目標値等は実施計画として進捗管理していく体系とする。

	【現行】平成27年度～令和4年度	【次期】 令和5～12年度
基本 目標	「犯罪の防止に努めた安全で安心な地域社会の実現」	【継続】
重点 目標	「犯罪発生件数を減少させる」	【継続】
基本 方向	○意識づくり 「地域の安全は自ら守る」という自主防犯意識を高める取組	【継続】
	○地域づくり 「地域の安全は自ら守る」ため連帯感を持った地域づくりへの取組	
	○環境づくり 「犯罪に遭わない、起こさせない」ための安全で安心して暮らせる 環境づくりへの取組	
主な 施策	防犯意識の広報啓発、自主防犯活動の推進、犯罪の防止に配慮した基盤 (インフラ) 整備など11項目	【継続】